

この度は当社商品をお買い上げ頂き有難うございます。
本書は製品を正しくご使用頂く使い方・製品説明及び注意事項を記載しております。必ず本書をお読みになってから製品の取付作業、ご利用を行ってください。

警告 下記記載の内容をお守り下さい。お守り頂かないと火災・感電・故障・怪我の原因となります。

液体・異物が入らないように注意して下さい。また、本製品を高温・多湿の場所で使用しないで下さい。

本製品を取り付ける場合は、本書とそれら取付けるパソコン及び周辺機器の取扱説明書を合わせてご確認ください。

異臭・異音がする場合はただちに使用を止め、当社までお問合せ下さい。

本製品は精密機器です。本製品の落下、強い衝撃、静電気を与えないように作業して下さい。

本製品に触れる前に身体の静電気を取り除いて下さい。静電気が発生しにくい衣類を身につけて作業を行って下さい。本製品を接続する前に必ずパソコンデータのバックアップを行って下さい。

■下記のような場所での使用を必ず避けて下さい。
強い磁気の影響を受ける場所/静電気が発生する場所/振動を受ける場所/火気周辺、高温多湿、結露が発生する場所/直射日光を受ける場所/平らではない場所/漏電・漏水の可能性がある場所/電子機器の影響があつてはならない場所(病院等)/その他、常識では考えられない場所での使用はお止め下さい。

本製品の保証は当社商品の故障に限り有効です。
その使用上生じた他製品の破損・損害及びデータ破損につきましては一切の責任を負いません。必ず付属ケーブルに異常がないか確認頂くと共にデータバックアップを行って下さい。

特定の機器でのみ発生する不具合につきましては保証対象外となります。
本製品を廃棄する場合は、各地方自治体の条例に従って廃棄して下さい。
最新情報は当社製品サイトにて更新情報があり次第、ご案内していく予定です。

付属品一式



パーツ A



データ通信ケーブル



電源用ケーブル

パーツ B

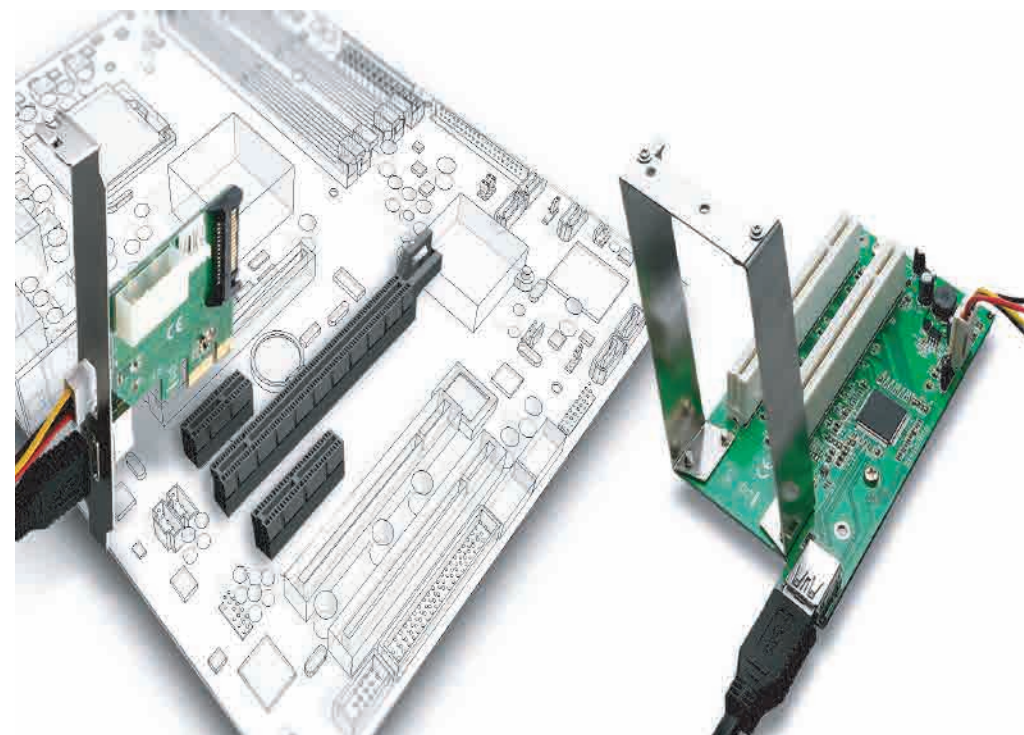
説明書(本書)/保証書 各 1

M3 ネジ 14 本 / M2 ネジ 2 本

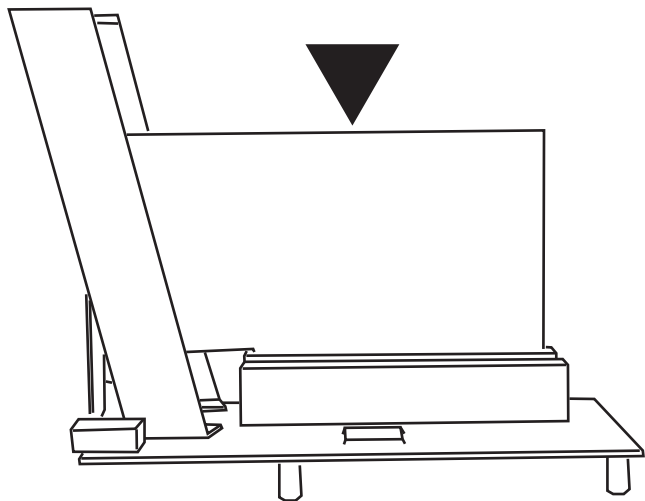
スペーサー 4 本 / ロープロファイルブラケット

商品名	拡張ボードの旧世主 第 2 章
型番	SD-PECPCiRi2
接続	PCI Express x1 (x4, x16 でも接続可能です。)
変換スロット	PCI Local Bus x2 スロット
本体重量	約 196g (付属ケーブル含)
基盤サイズ	パーツ A 約 54 x 67 mm(突起部含まず) パーツ B 約 71 x 135 x 110 mm(突起部含まず)
付属品	電源ケーブル約 100cm データ通信用ケーブル約 100cm M3 ネジ 14 本 / M2 ネジ 2 本 / スペーサー 4 本 / 説明書 (本書) / 保証書 / ロープロファイルブラケット
対応 OS	Windows 8.1 / 8 / 7 / Vista / XP SP3
保証期間	6 ヶ月

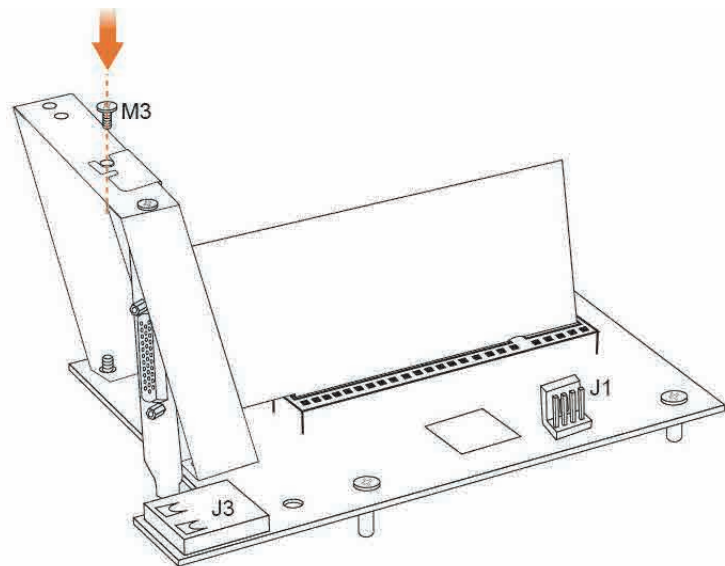
各ケーブル接続イメージ図



※パーツ A を取付後、パーツ B に PCI 拡張カードを水平に挿しこんで下さい。



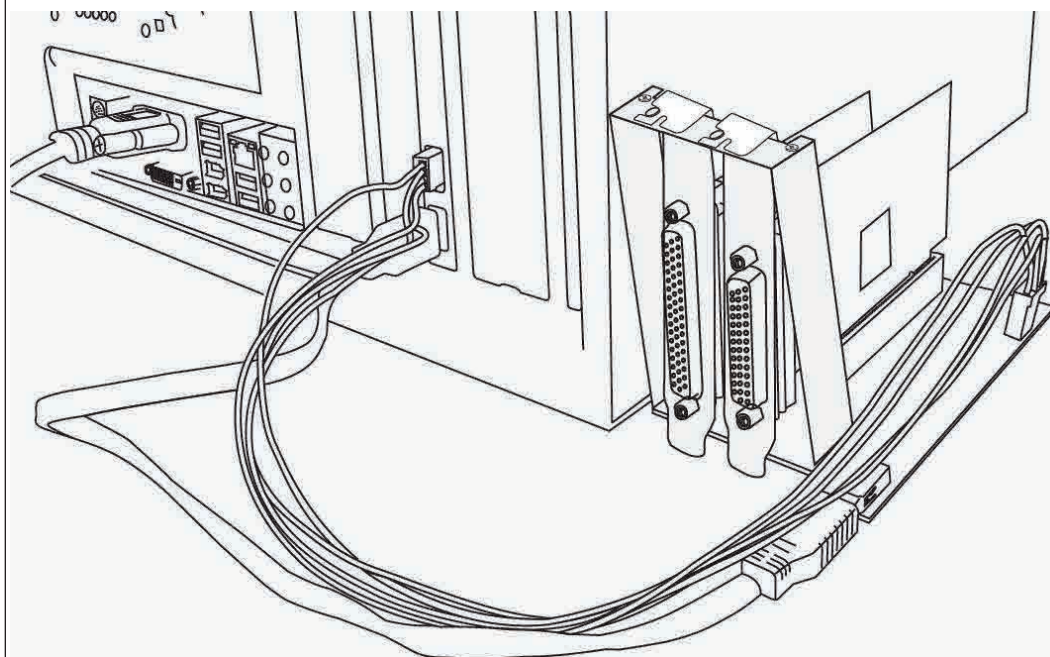
※拡張カードを M3 ネジにて固定して下さい。



ページ 2 を参考にして頂きパーツ A とパーツ B をデータ通信ケーブルと電源ケーブルで接続して下さい。

本製品自体はドライバを必要としませんが、拡張インターフェイス側のドライバが必要な場合がございます。
拡張インターフェイスに付属の説明書に添ってドライバをインストールして下さい。
またファンレス仕様の製品の中にはケース内のエアフローを利用して冷却する製品もございます
ので本製品で使用する際は排熱されず故障の原因となる可能性がございますので事前にご確認下さい。

本製品の設置例



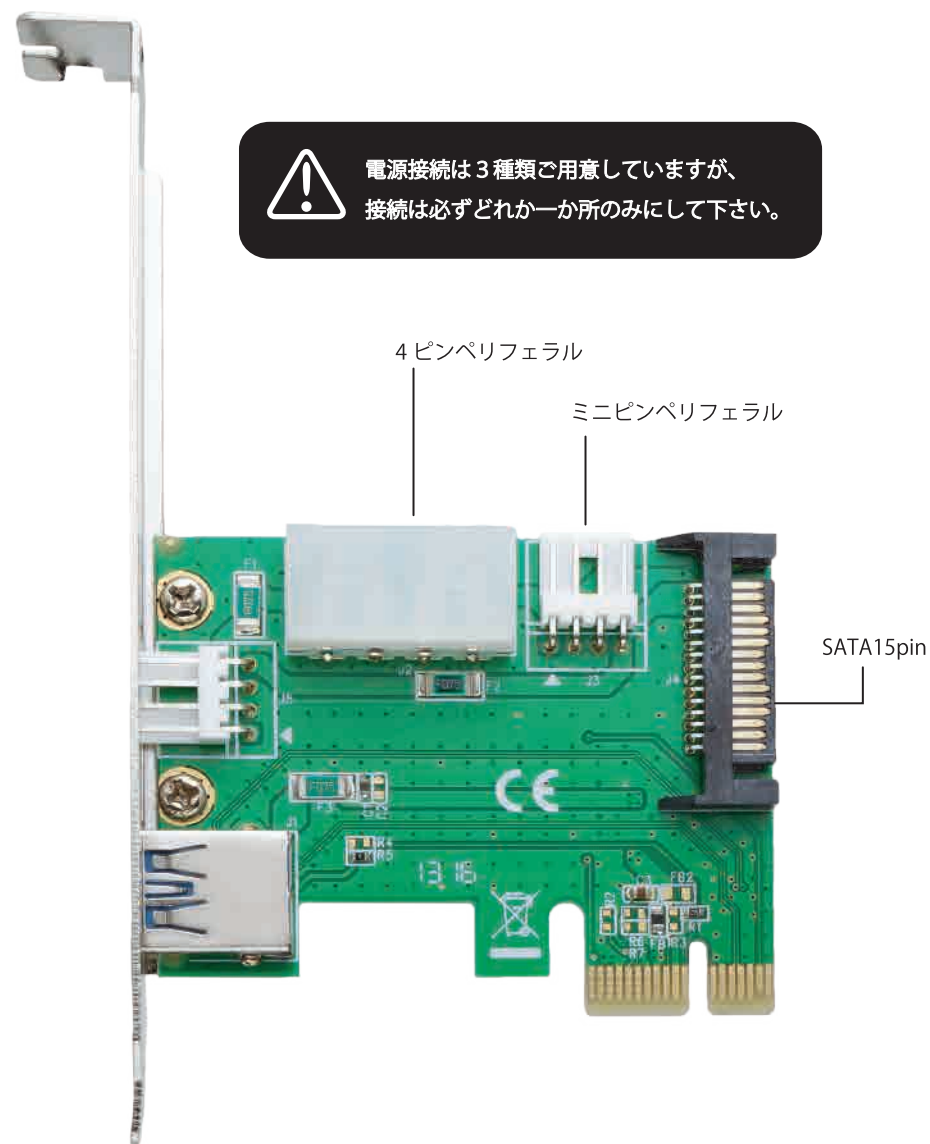
※本製品はすべての PCI カードの動作を保証するものではありません。

また、製品の特性上 VGA カード動作保証対象外となります。

また、パラレル / シリアル通信ではブリッジチップを経由する事により通信データが崩れる事がある事例もございます。

※本製品の特性上基盤が剥き出しでのご利用方法となりますので埃や水滴、静電気がおこる場所
直射日光が当たる場所では使用しないで下さい。

パーツ A の確認点



本製品の USB ポートに USB 機器を接続しても認識しません。
USB ラインは PCI Express のデータラインを引き出しています。
機器を接続すると発火やパソコンの故障の原因となりますので
決して行わないで下さい。

※本製品はプラグアンドプレイ非対応となりますのでパソコンの電源投入後
はけって抜き差しをしないで下さい。

パーツ B の確認点

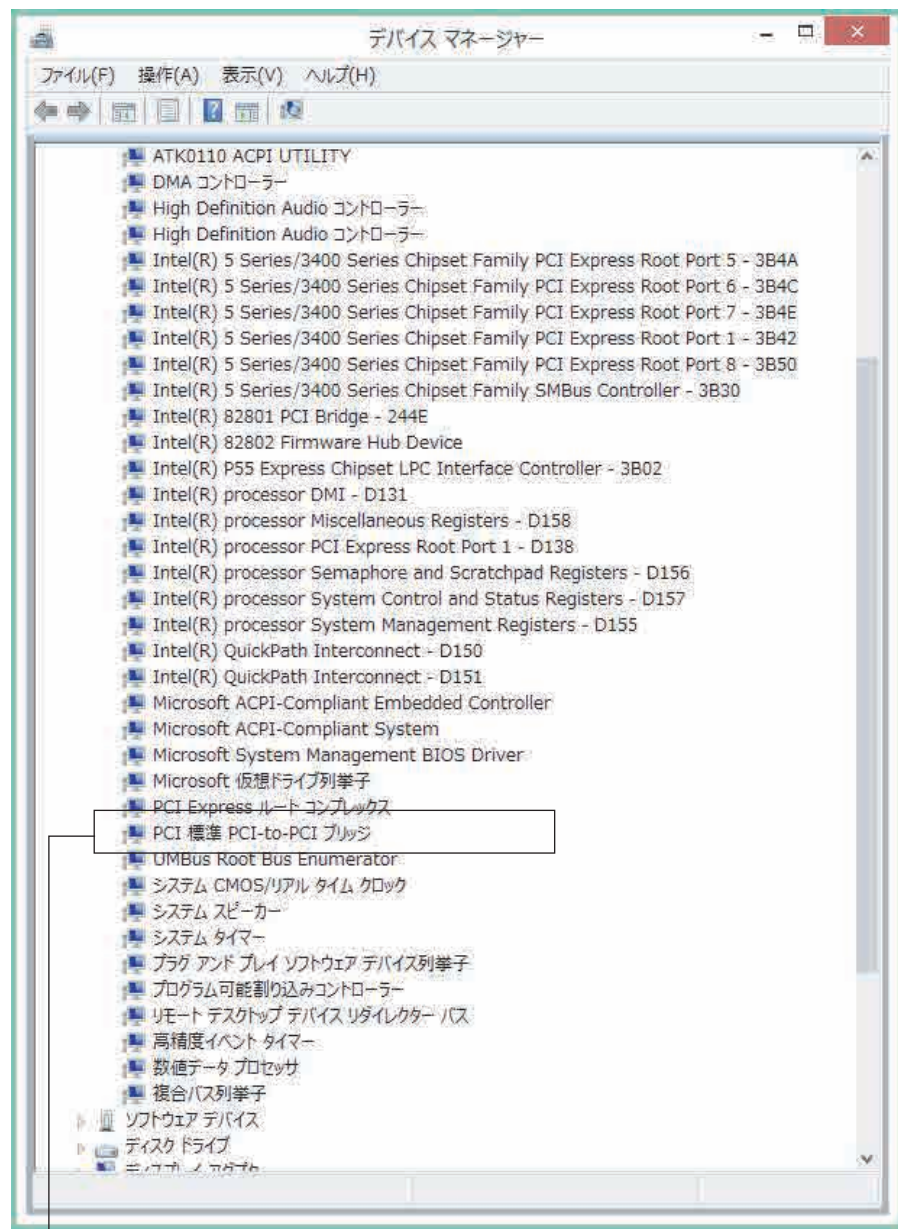


ご利用の PCI カードに併せて電圧の設定を行って下さい。

ご利用の PCI カードに併せて MHz の設定を行って下さい。

※ジャンパーピンの設定は必ず電源投入前に行って下さい。

■デバイスマネージャーでの表記



PCI 標準 PCI to PCI ブリッジという表記が本製品になります。
(上記画像は Windows8 での例となります。)

■その他の確認事項

※5V と 3.3V は PCI スロットの切り込みにより見分ける (ブラケット位置を左として)



例外の機器もございますので不明な際はご使用のカードメーカー様にお問い合わせ下さい。

■33MHz と 66MHz

PCI 規格とクロック周波数で

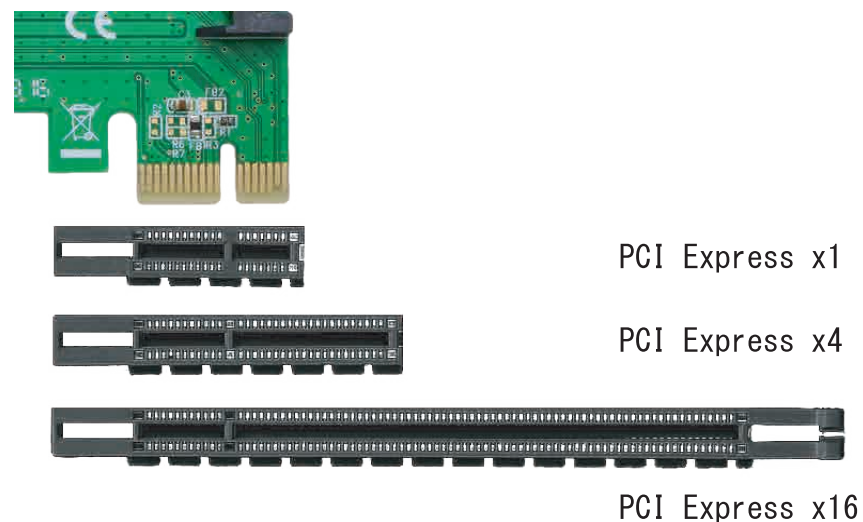
33MHz PCI = 5V

66MHz PCI = 3.3V

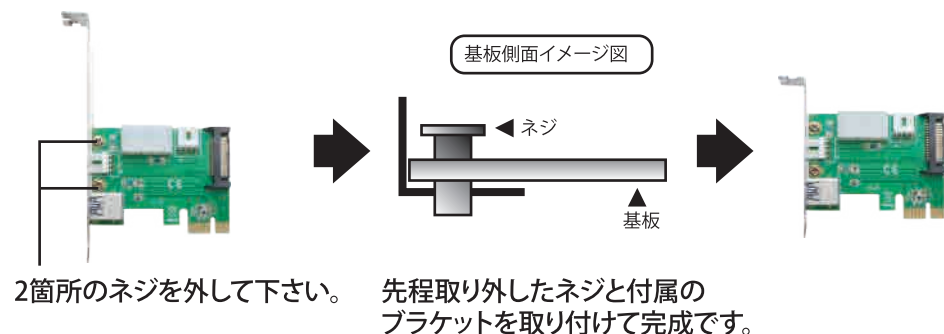
となります。

※本製品は PCI-X 用拡張ボードはサポートしておりません。

本製品は PCI Express x1 形状ですが、下記のような x4 / x16 スロットにも接続可能です。



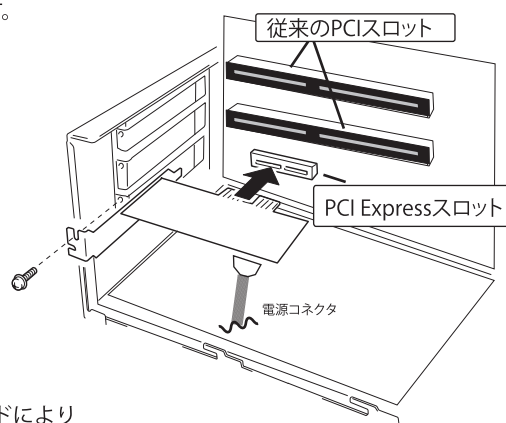
- ロープロファイル型パソコンに取り付ける場合ブラケットの交換を行って下さい。
 ※プラスドライバは別途ご用意下さい。
 ※取付作業を行う場合は、静電気防止、水分の無い場所で行って下さい。



【 本製品をパソコン本体に接続する 】

- 1.本製品を接続するパソコン及びパソコンに接続している周辺機器の電源をOFF
 (パソコン本体をOFFにします。)します。
- 2.パソコン本体に接続しているケーブルを取り外します。
- 3.パソコン本体のカバーを取り外します。カバーの取り外し方は各メーカーに異なります。
 必ずご使用のパソコンメーカーの取扱説明書をご参照下さい。
- 4.本製品をPCI Express x1スロット部分とケースのブラケット部分の位置を確認し、
 ケース側のブラケットを取り外します。
- 5.PCI Express x1スロットに本製品のパーツ A を挿し込みます。
 ※PCI Express スロットには向きがございます。
 溝の部分に合わせて平行に奥まで差し込んで下さい。
- 6.挿込後、本製品とケース側をネジを用いて固定します。
- 7.電源コネクタに電源ケーブルを差し込んで下さい。
 ※3種類のうち 1 つだけを接続して下さい。
- 8.3で外したケースカバーを元に戻します。
- 9.2で取り外したケーブル類を戻します。

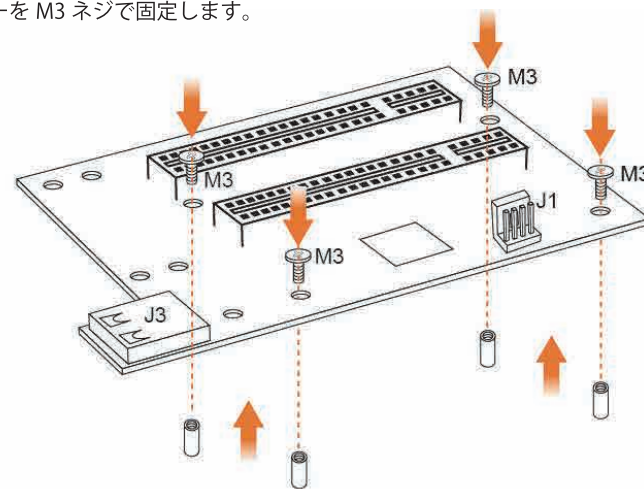
以上でパーツ A の接続は完了となります。



※従来の PCI スロットには接続できません。
 図のスロットの位置は例です。
 スロット位置に関してはご利用のマザーボードにより
 こととなります。

パーツ B の組み立て

付属のスペーサーを M3 ネジで固定します。



ブラケット固定用アームを下記図に添って組み立てて下さい。

